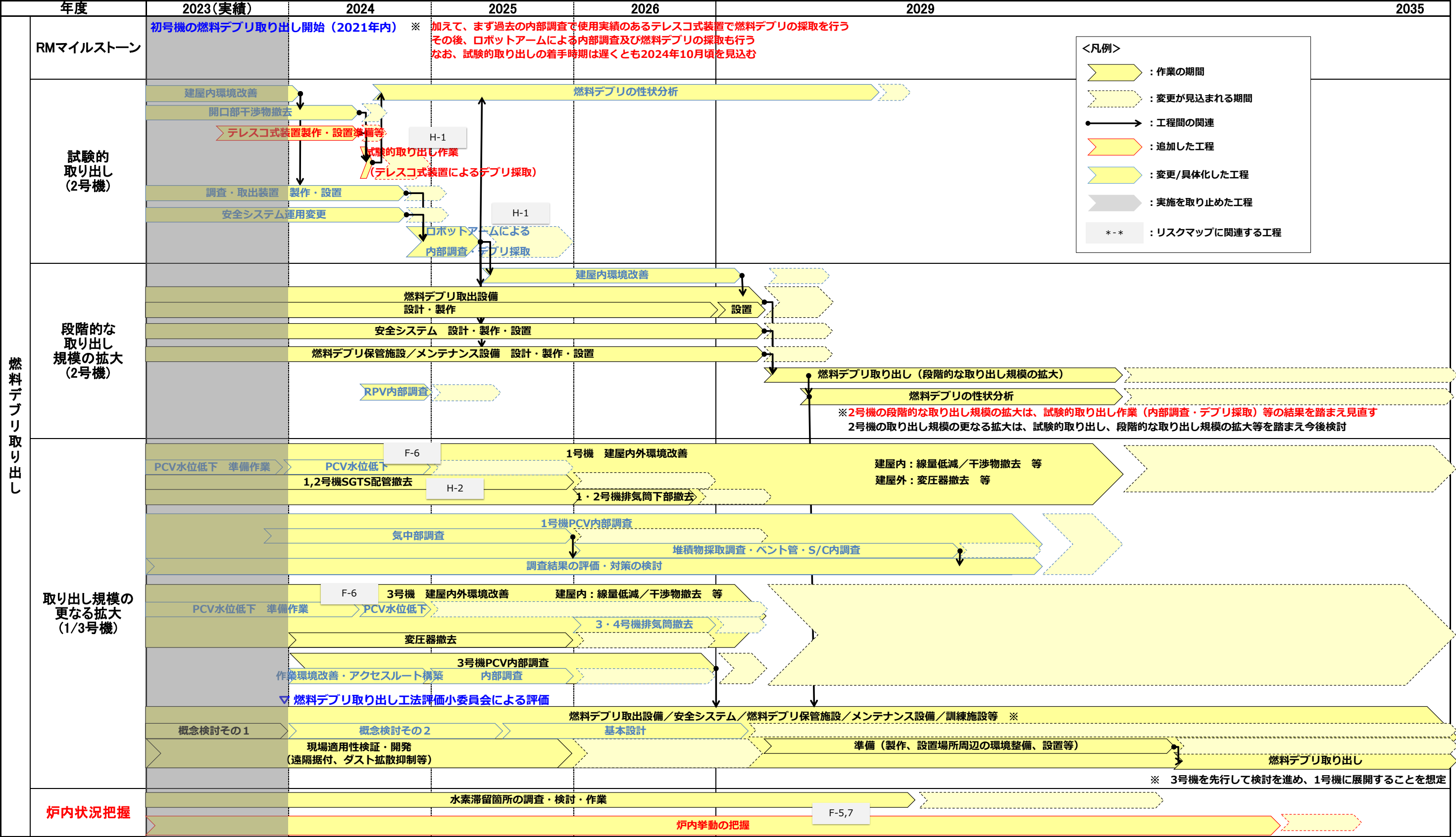


1 / 3

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	燃炉中長期実行プラン2024 目標工程	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月以降	備 考
					29	30	31	1	5	12	19	26	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上		
		P V / P C V 健全性維持	圧力容器 / 格納容器の健全性維持	(実 績) 3号機 (予 定)	現場作業																						
				(実 績) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施 (継続) (予 定) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施 (継続)		検討・設計																					
		炉心状況把握	炉心状況把握	(実 績) ○事故関連factデータベースの更新 (継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 (継続) (予 定) ○事故関連factデータベースの更新 (継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 (継続)	検討・設計																						
				(実 績) ○2号機燃料取扱機操作室調査の実施 ○2号機原子炉建屋内調査 (地下階三角コーナの状況確認) ○3号機原子炉建屋内調査の実施 (予 定)		現場作業																					
燃料デブリ取り出し準備	●燃料デブリの処理・処分方法の決定に向けた取り組み	取出後の燃材料・デブリ分別安定保管	燃料デブリ性状把握	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等 (継続) (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等 (継続)	検討・設計																						
				【研究開発】燃料デブリの性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等		現場作業																					
		燃料デブリ臨界管理技術の開発	燃料デブリ臨界管理技術の開発	(実 績) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発 (継続) ・臨界防止技術の開発 (継続) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発 (継続) ・臨界防止技術の開発 (継続) (予 定)	検討・設計																						
						現場作業																					
	●段階的な取り出し規模の拡大 (2号機)	燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発	燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 (継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発 (完了) (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 (継続)	検討・設計																						
				【研究開発】粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 (粉状及びスラリー・スラッジの分析等)		現場作業																					

- 凡 例
-  : 検討業務・設計業務・準備作業
 -  : 現場作業予定
 -  : 機器の運転継続のみで、現場作業 (工事) がいない場合
 -  : 記載以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載
 -  : 工程調整中のもの



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る